延長に関する交換公文◎日本国政府とイラン帝国政府との間の貿易協定の

(略称) イランとの貿易協定の延長取極

イラン側書簡	協定の延長	日本側書簡	E .	
簡	長			
			次	
				昭昭昭和和和和
				昭和四十七年四月二十五日昭和四十七年四月二十五日
				六月二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
				五五日日日
・三五八	三五七	三五七	ページ	昭和四十七年六月 七 日 告示昭和四十七年六月 七 日 告示昭和四十七年四月二十五日 効力発生
•	ט	-		当告示第
				(外務省告示第一二九号27元ランで
				-

イランとの貿易協定の延長取極

日 「本側· 書 簡

二日までさらに一年間延長することとする旨の了解を日本国政 らず千九百七十一年六月二十三日から千九百七十二年六月二十 日まで一年間延長されたもの)をその第六条の規定にもかかわ より千九百七十年六月二十三日から千九百七十一年六月二十二 らに、千九百七十一年二月十四日テヘランで交換された書簡に 千九百六十八年六月二十三日にテヘランで署名された日本国政 十三日から千九百七十年六月二十二日まで一年間延長され、さ 二日にテヘランで交換された書簡により千九百六十九年六月二 府とイラン帝国政府との間の貿易協定 ン帝国政府の代表者の間で最近行なわれた討議に言及し、かつ、 書簡をもつて啓上いたします。本使は、日本国政府及びイラ (千九百六十九年七月十

されれば幸いであります。 本使は、 以上を申し進めるに際し、 貴官が前記の了解をイラン帝国政府に代わつて確認

ことに重ねて貴官に向

かか

highest consideration.

府に代わつて確認する光栄を有します。

千九百七十二年四月二十五日にテヘランで

つて敬意を表します。

日本国大使 前田憲作

(Japanese letter)

April 25th, 1972

Excellency,

June 23rd, 1971 to June 22nd, 1972, notwith-Tehran on February 14th, 1971, shall be exabove-mentioned Agreement. standing the provisions of Article VI of the tended for a further period of one year from June 22nd, 1971, by the Notes exchanged at period of one year from June 23rd, 1970 to July 12th, 1969 and further extended for a of one year from June 23rd, 1969 to June 22nd, 23rd, 1968, which was extended for a period Government of Iran signed at Tehran on June the Government of Japan and the Imperial understanding that the Trade Agreement between and the Imperial Government of Iran and to the representatives of the Government of Japan sions which have recently taken place between 1970, by the Notes exchanged at Tehran on confirm, on behalf of my Government, the I have the honour to refer to the discus-

to Your Excellency the assurances of my would be good enough to confirm the above-Imperial Government of Iran. mentioned understanding on behalf of the I should be grateful if Your Excellency I avail myself of this opportunity to renew

(Signed) Kensaku Maeda Ambassador of Japan

(訳文)

三五八

Senior Undersecretary,

Ministry of Economy, Mr. Farrokh Najmabadi,

Imperial Government of

lran

(Iranian letter)

April 25th, 1972

His Excellency

イラン帝国政府経済省次官 ファ ルロフ・ナジムアバディ閣下

(イラン側書簡)

を有します。 (日本側書簡)

二十五日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄

書簡をもつて啓上いたします。本官は、千九百七十二年四月

認する光栄を有します。 本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か 本官は、さらに、前記の了解をイラン帝国政府に代わつて確

千九百七十二年四月二十五日にテヘランで

つて敬意を表します。

経済省次官 ファルロフ・ナジムアバディ

日本国大使

前田憲作閣下

Excellency,

of the letter dated April 25th, 1972, of Your Excellency which reads as follows: I have the honour to acknowledge receipt

"(Japanese letter)"

my Government. above-mentioned understanding on behalf of I have further the honour to confirm the

highest consideration. to Your Excellency the assurances of my I avail myself of this opportunity to renew (Signed) Farrokh Najmabadi Senior Undersecretary

of the Ministry of Economy

Ambassador of Japan Mr. Kensaku Maeda His Excellency

集第一七七三号参照)の有効期間を一九七一年六月二十三日から一九七二年六月二十二日まで一年間、この取極は、一九六八年六月二十三日に署名された貿易協定(昭和四十三年二国間条約集及び条約 延長するためのものである。

二月十四日付け交換公文(条約集第二○○四号参照)により二度延長されて来た。 なお、右協定は、一九六九年七月十二日付け交換公文(条約集第一八五七号参照)及び一九七一年

イランとの貿易協定の延長取極